

2007年

6月
市の職員が
ブログに不適切な記述

11月
未成年の
大学生がSNSで
飲酒を告白

10月
電気機器メーカー
社員のPCから
情報漏えい

2006年

5月
遊戯施設の
アルバイトが
客の誹謗中傷を
ブログに掲載

2005年

証券会社の
内定者がブログに
暴力行為を記載

8月
飲食チェーンの
アルバイトが
ブログで
客を誹謗中傷する
記述

思わぬとまごころに火種？ 従業員による不祥事が 企業ブランドを傷つけたケース

IT化が進み、誰もがインターネットで情報を受発信できる時代になった。多くの人が会社とは離れたところでプライベートなメディアを持った今、企業の広報は、新たな課題に直面している。

多発する社会人の ブログ炎上

従業員のプライベートでの活動が、企業の風評被害につながる事例が相次いでいる。中でも、ブログやSNSなどに、不適切な活動をしたことを自ら書き込んで発覚するケースも目立つ。編集部では、こうした事例について、ここ数年で起きた主なものをまとめた。

表に挙げた事例からは、従業員の不祥事が、どの程度企業ブランドに影響するかが分かる。事例の中には、誰が聞いても「社会人として不適切」と感じる事例もある一方で、もしか

したら自分でもやりかねない、と感じるケースもあるだろう。多くの人がブログに参加している。ぜひ、事例を参考に、この問題が企業にとって早急に対応すべき事柄であると気付き、広報として何ができるかを検討しよう。

企業	従業員	事件のあらまし	企業の発表	企業の対応/再発防止策
証券会社	新卒採用の内定者	自身のブログにて、車を運転中に、別の車と接触しそうになった際、相手の運転手が謝罪をしているにもかかわらず、罵声を浴びせ土下座させたことと記述、公開。	公式のコメントは公表していないが、多くの批判が企業に寄せられたため、この学生の内定を取り消し。	●経緯の調査／●ブログの閉鎖／●内定取り消し
飲食チェーン店	アルバイトスタッフ	実名で運営していた自身のブログにて、コミックマーケットの客が気持ち悪いなど、誹謗中傷する内容を記述、公開。	経緯を調査し、企業ウェブサイトにて「移動店舗内スタッフによるブログ上の発言」について「極めて遺憾」とする文章を発表。	●経緯の調査／●ウェブサイトでの謝罪
遊戯施設	アルバイトスタッフ	自身のブログにて、コスプレイベントの客を誹謗中傷する内容を記述、公開。また、その週の終礼で「コスプレイベントには、変な人がたくさん来るが、がんばろう」と発表があったと記述、公開。	「いつも『コスプレイベント』にご来場いただき、誠にありがとうございます。この度、お客様に対する大変失礼な『ブログ』が発覚いたしました。調査いたしましたところ、弊社の従業員(アルバイト)から発信されたことが確認され、主催者として誠に申し訳なくお詫び申し上げます」と謝罪のコメントを発表。	●厳重注意／●謝罪文
電気機器メーカー	社員	社員のPCがウィルス感染し、ファイル交換ソフトを通じて、PC内の情報が流出。流出した情報は、一部の社員名簿、社内の集合写真やこの会社員の恋人と思われる女性の写真など。その後、SNSに社員が本名で登録していたため、出身校までが明らかになった。	「事件について把握している。ファイル交換ソフトの使用は控えるように通達をしている。セキュリティの整備をしていたが、守られていなかった。今後は整備と社員教育を徹底する」と発表。	●社員の厳重処分／●社員教育の徹底
大学	在学生	参加するSNSの自身の日記に、未成年であるにもかかわらず、クラブ関連の飲み会で酒を飲んだあと、バイクを運転したことと記述、公開。	事件発覚後、未成年の飲酒と飲酒運転の禁止を周知する呼び掛けを公表。	●学生とクラブ主将を呼び出し「しかるべき処置」／●学生は自身のSNSの日記に反省文を掲載
市役所	男性職員	自身が運営するホームページにて、「将来の夢」に「放火魔」と記述、公開。また「特技」として「放火魔、はったり」などとも記述。		●HPの閉鎖／●文書注意処分／●職員教育の徹底